

★マドゥーロ政権はなぜ違法なのか＝パスカリーナ・クルチオ

マドゥーロ大統領は独裁者、権力の篡奪者で、第2期（2019=2015）の政権は正当性がなない。こう主張している人びとは何を根拠にしているのか。退陣を要求している米国とブラジルなど同盟する中南米の右派政権（リマ・グループ）12カ国は1月4日の声明で、次のように主張した。「2018年5月20日におこなわれた選挙は、合法性に欠ける。なぜならすべての政治勢力が参加せず、独立した国際的な選挙監視団もなく、自由で、公正、透明な選挙に必要な国際的保障と基準がなかったからだ」

ベネズエラの野党も、民主的な選挙でなかったとし、根拠もなく「篡奪者」とくりかえしている。ペンス米副大統領も「違法な独裁者」と攻撃している。その戦略は明らかだ。嘘を何千回もくりかえして真実をひっくり返すことだ。真実はどうか。

- 1、 大統領選挙が行われたのは2018年5月20日で、2019年1月10日より前だった。ベネズエラ憲法230条及び231条によれば、大統領の任期は2013年から2019年（1月10日）までである。もし2019年1月10日以降に選挙がおこなわれたとしても、それは憲法違反になり、おこなわれなければさらに悪いことになる。
- 2、 選挙を前倒して実施せよと要求したのは野党であった。恒例だった12月ではなく5月におこなわれた。2018年1月から3月まで、ドミニカ共和国でおこなわれた対話のなかで、野党が要求したのである。
- 3、 ベネズエラでは投票は権利であり義務ではない。野党の一部が投票にいくなどボイコットを呼びかけ、人々はそれに影響を受け投票にいかなかたが、それは自由意思できめた。完全に彼らの権利だ。だからといってこの選挙に合法性がないことには絶対ならない。それは民主的に投票権を行使した938万9056人の意思を無視することになる。
- 4、 選挙には16党が参加した。PSUV, MSV, ツウパマロ、UPV, ポデモス、PPT、ORA、MPAC, MEP, PCV, AP, MAS, COPEI, 変化の希望、UPP 89の各党である。ベネズエラでは政党の選挙参加は義務ではない。参加するかしないかを決定する完全な権利が

ある。まさに制度が民主的だからである。実際、3党（AD、VP、PJ）が自由な意思で選挙不参加を決めた。だからといって選挙が違法ということにはならない。

- 5、 6人の候補が大統領の座を争った。マドゥーロ、ファルコン、ベルツッチ、キハーダ、ベスコンティ、アレハンドロで最後の2人は途中で撤退した。
- 6、 マドゥーロは大差をつけ、**6,248,864** 票（得票率 **67.84%**）で勝った。2位のファルコン **1,927,958** 票（**20.93%**）、ベルツッチ **1,015,895**（**10.82%**）、キハーダ **36,246** 票（**0.39%**）だった。マドゥーロとファルコンの差は **46・91** ポイントだった。
- 7、 約 **150** 人が選挙を監視した。このなかには8カ国の選挙監視委員 **14** 人、選挙技術団2団体、**18** 人の外国人ジャーナリスト、ロシア選挙センターから1人の選挙議会委員、技術団が含まれている。
- 8、 選挙は、野党が勝利した**2015**年の国会議員選挙と同じシステムを使って行われた。自動投票機械は選挙期間中と前後に監査をうけた。投票機械は諮問照合で開かれるため一人一票が保障されている。投票の秘密も守られている。
- 9、 自動システムで**18**回の審査が行われた。ファルコン候補派の代表が**18**回のすべての審査に参加し、過程に同意する旨の証書にサインした。審査は公開で、全国選挙評議会（管理員会）のチャンネルでライブ放送された。審査の後、機会はロックされ、全政党が持つ暗証番号が同時に使われなければ開かなくなった。
- 10、 選挙に参加した候補者は誰も結果に異議を唱えなかった。不正の証拠は何も提出されず、具体的な抗議もなかった。

2018年5月20日の大統領選挙は、一部の野党から非民主的なボイコットの呼びかけがあったものの、自由かつ透明で信頼でき、確実に、憲法に合致したものであった。大統領府の篡奪を狙う人たちは、憲法で考えられていない権力の空白と

臨時政府の樹立を主張している。これも憲法の規定にないものである。それでも十分でないかのごとく、かれらは国境の外での権力行使をめざしている。これはカラカスを公権力の所在地とした憲法 18 条の侵害である。

ことほど左様に彼らこそが篡奪者であり、違法かつ非民主的である。野党の一部が外国の帝国主義からの支持を得て、人民も憲法も与えていない権力を行使することこそ違法であり、権力篡奪の企てにあたる。

◇パスカリーナ・クルチオ＝シモン・ボリバル大学准教授・経済学（A L A I 1 月 25 日）